

2019年度「感染管理認定看護師のためのキャリアディベロップメント講座」 講義概要

前期

第1日 2019年9月14日(土)

第1時限 (13:35~15:05)

『感染症学』

講師： 奈良県立医科大学

笠原敬

講義概要： 笠原先生からのメッセージ

「感染症学においては、宿主、病原体、抗微生物薬のいわゆる「感染症の三角形」を適切に考えることが重要です。本講義では感染症診療や感染対策において、これらの要素がどのようにプラクティスを変えるか、事例を通して考えましょう。」

第2時限 (15:20~16:50)

『AMR と AST』

講師： 東北大学病院

鈴木博也

講義概要： 鈴木先生からのメッセージ

薬剤耐性(AMR)の発生・拡大防止には、適切な感染対策の実践と抗菌薬適正使用が重要で、前者は ICT が、後者は AST が中心的な役割を担っています。今回の講義では抗菌薬適正使用について解説します。AST 活動の一助になるお話ができればと思います。

第3時限 (17:05~18:35)

『ネット社会の歩き方』

講師： 東京工芸大学

大島武

講義概要： 大島先生からのメッセージ

インターネットの普及により私たちは「自由」や「便利」を手に入れましたが、一方で個人情報漏洩、著作権侵害、コンピュータウイルス、不正アクセス等、マイナス面も看過できません。本講義ではこうしたネット社会の影の部分をクリックアップし、解説します。特にネット炎上に関しては講演者が制作した短い啓発映像もご覧頂きます。

前期

第2日 2019年9月15日(日)

第1時限 (8:30~11:45)

『サーベイランス① 疫学・統計学』

講師：国立看護大学校 西岡みどり

講義概要：西岡先生からのメッセージ

ICNが頑張っているからこそ感染が起こらずに済んでいます。

病院幹部や職員はイメージできているでしょうか？

感染管理活動の成果を「見える形」にする簡便な統計手法を厳選してご紹介します。

また、施設では感染率を下げるだけでなくコスト削減も求められます。

感染対策の費用対効果を検討する簡単な方法もご紹介します。

第2時限 (12:35~14:05)

『手指衛生』

講師：大阪大学大学院 森井大一

講義概要：森井先生からのメッセージ

手指衛生教育は行き詰っている。有効性は170年前に証明されている。にも関わらず、手指衛生遵守は現在でも課題であり続けている。これまでは人間の合理性を信頼しすぎていた。非合理的な存在として人間を受け止め、その非合理性を逆手に取るような新しいアプローチが必要だ。マンネリ化しがちな感染対策の新しい地平を拓く。

第3時限 (14:20~15:50)

『微生物と抗菌薬』

講師：自治医科大学附属病院 畠山修司

講義概要：畠山先生からのメッセージ

感染症を抗菌薬で適切に治療するためには、感染症を引き起こす微生物の知識が欠かせません。臨床微生物の観点から抗菌薬の知識や理解を深め、抗菌薬の適正使用の一助とすることを目指します。

◎後期

第1日 2020年1月11日(土)

第1時限 (13:35~15:05)

『真菌感染症』

講師： 千葉大学真菌医学研究センター 亀井克彦

講義概要： 亀井先生からのメッセージ

「耐性の増加に加えて MDR の出現など、真菌でも一般細菌と同じような深刻な問題が起こってきています。また、院内感染（医療関連感染）では真菌症の outbreak が大きな問題として注目されるようになりました。この講義では真菌感染症を概括しつつ、院内感染という観点から真菌を見直す機会を提供したいと思っています。」

第2時限 (15:20~16:50)

『輸入感染症』

講師： 国立国際医療研究センター 忽那賢志

講義概要： 忽那先生からのメッセージ

現代では海外渡航歴がある患者を診療することは決して稀ではなくなっている。輸入感染症診療で最も重要なことは海外渡航歴を丁寧に聴取することに尽きる。「渡航地・潜伏期・曝露歴」の3つを聴取することで大きく鑑別診断を狭めることができる。その上で、鑑別診断にマラリアが残っている場合には末梢血のギムザ染色で3回陰性が確認できるまではマラリアを念頭に置いておくべきである。また、今日的にはジカ熱の見逃しが大きな社会問題につながりかねないため、ジカ熱についても十分に可能性について考慮すべきである。

第3時限 (17:05~18:35)

『危機管理』

講師： 国立保健医療科学院 齋藤智也

講義概要： 齋藤先生からのメッセージ

危機管理が大事、とはよくいうけれど、「感染症の危機管理」って実際一体何をすればよいのでしょうか？新型インフルエンザ対策の例を交えつつ、医療機関の取り組み方を、特に行政との連携という視点から一緒に考えてみたいと思います。

◎後期

第2日 2019年1月12日(日)

第1時限 (8:30~11:45)

『サーベイランス② SSI サーベイランス』

講師：山形大学医学部附属病院 森兼啓太

講義概要：森兼先生からのメッセージ

ストーリー仕立てで SSI サーベイランスを学ぶ機会を提供します。主人公になりきって、SSI サーベイランスの開始から実践、データ解析、フィードバックまでを自力で進められるように、皆で一緒に勉強しましょう！

第2時限 (12:35~14:05)

『論文の書き方』

講師：聖路加国際大学 小林大輝
聖路加国際病院 坂本史衣

講義概要：小林先生からのメッセージ

本講義は、看護研究を学会発表や論文発表する際の、投稿方法に関する講義です。一般的な投稿形式・方法に関する話から、審査員からはどのような点が投稿の際に求められているのか、どのように研究を魅力的に表現するか、に迫りたいと思います。

第3時限 (14:20~15:50)

『感染制御をめぐる内外の最新トピックス 』

講師：平岩病院 大久保憲

講義概要：大久保先生からのメッセージ

その時点での感染制御に関するトピックについてお話しする予定です。

再製造単回使用機器、改訂版プリオン病感染予防ガイドライン 2019などを考えております。